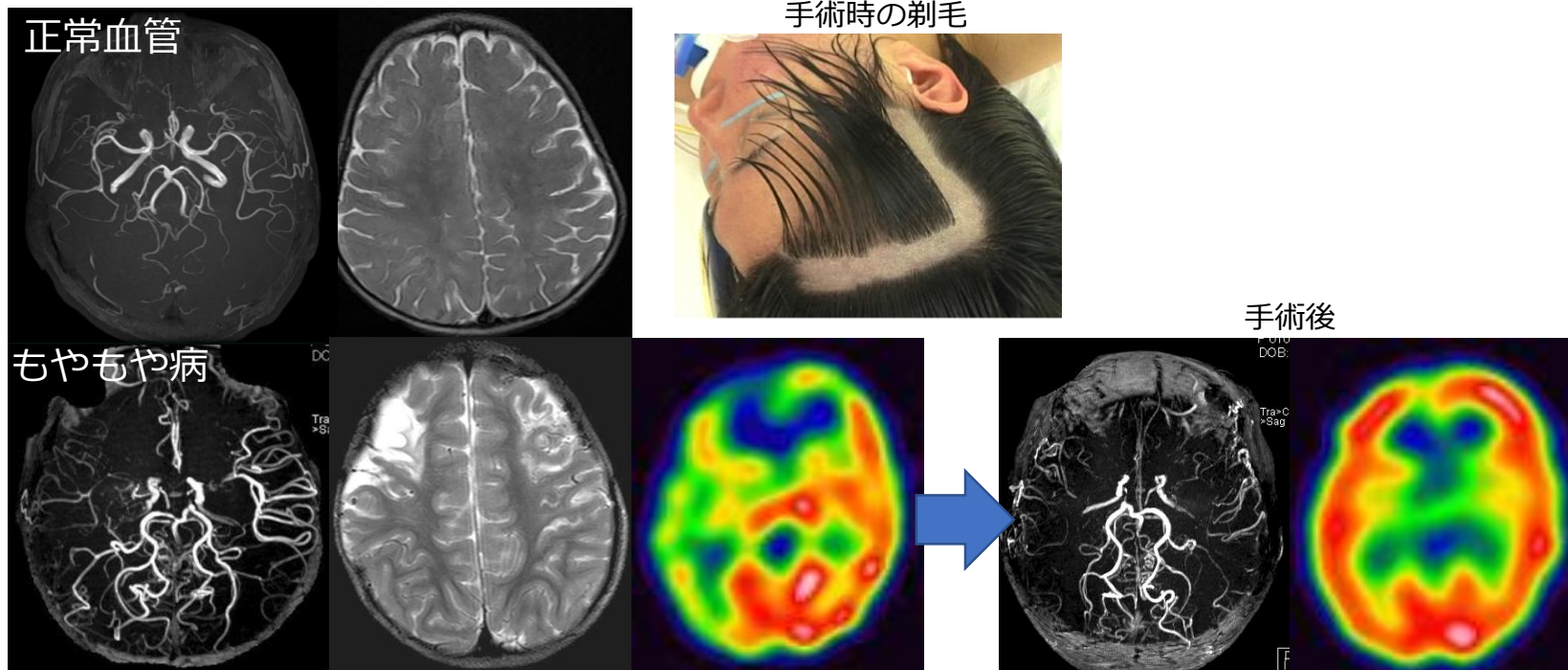


もやもや病と手術治療

もやもや病の原因は不明ですが、適切に治療を行うことで症状の悪化を予防することができます。

治療は手術が第一選択で血行再建術を行います。新たな脳梗塞が起きる前に行う必要があります。脳の血流が不足している領域が見られるかを精査したのちに適切な手術方法で手術を行なっています。

手術の際には退院後すぐに日常生活に戻れるよう、必要最低限の剃毛で行なっており、平均的には術後1週間の入院期間となります。



MRAでは向かって左側の脳血管の描出が低下し、右側の血管の→部の狭窄が見られる。右前頭部に脳梗塞を認め、SPECT検査で血流の低下が確認された。

手術によって脳表面から新たな側副血行が発達し、SPECT検査で血流の改善が示唆された。